



マナウス日本人学校 学校便り
マナウス

平成 28 年 (2016 年) 5 月 27 日 第 3 号

学校教育目標

- ・自ら進んで学びとる子ども (知)
- ・礼儀正しく思いやりのある子ども (徳)
- ・心と体を鍛える子ども (体)

ちよつとのがまんは「幸せのもと」

マナウス日本人学校 校長 中川勝美

朝、スクールバスから降りてきたとき「おはようございます」と子供たちが元気よく挨拶してくれます。また、職員室の戸を開けて、「おはようございます」と挨拶をしながら、きちんと私のほうを見て、丁寧なお辞儀までしてくれる子もいます。1年生から中学生まで、どの学年の子供も実によくしてくれます。とっでもうれしくなります。

参観日のアンケートを参考に、もっともっと「気合い」がこもった元気な声で挨拶ができるように指導していきたいと考えています。

ある本にこのようなことが書かれていました。

「挨拶すらできない人に、なにができるのでしょうか。挨拶は自分を抑えなければできないことが多いのです。

めんどくさいな、と思っても……………

あの人が嫌いだから、と思っても……………

体調がすぐれなくても……………

そういう自分の心と闘って、はじめて挨拶ができるのです。」

挨拶に限らず、学習や運動、後片付けなどの生活習慣が上達するためには、「ちよつとの努力」の積み重ねが、とっでも大切なのです。

「理科の実験で興味がわいた」「算数の問題が分かりそう」など、ちよつとしたきっかけで子供たちの「やる気」は起こります。そのために、本校の教職員は、子供たちに意図的に声をかけたり、はてな？を喚起する教材を準備したりするなど授業を工夫して、子供のやる気を引き出しています。そして「ちよつとの努力(学習意欲)」が継続していくよう、子供たちが頑張っている姿に声をかけ励ましています。

家庭では、保護者の皆さんが子供にとって一番の手本であり「教師」です。「家の掃除や整頓をする」「玄関の履き物を揃える」「家庭学習を欠かさずする」など「家庭のしつけ」として根気強く物事に取り組ませることは、子供の成長にとって欠かせないことです。

子育ても教育も、声をかけ、目をかけ、手をかけて、しかし、構い過ぎず、さりとして離れすぎずのバランスが大切です。

「ちよつとのがまん」を学校と一緒に子供たちに求め、ご家庭でも「やさしさ」と「きびしさ」の子育てのバランスが欠けていないか、今一度見つめ直してみたいかがでしょうか。



皆さん本をいっぱい読んでね！図書委員会
マナウス ブックレティ
ースからのお・ね・が
い！！

6月行事予定

- 8日(水) 運動会総練習
- 12日(日) 第36回大運動会
- 13日(月) 振替休業日
- 16日(木) 現地弁当の日
- 17日(金) 委員会活動
- 23日(木) 全日中学部期末テスト
- 24日(金) 全日中学部期末テスト
- 26日(日) 第18回敬老慰安会(日伯協会)

ジョゼフィーナ校と今年も交流しました。

5月3日(火)に、第1回目の交流を行いました。ジョゼフィーナ校は日本語で日本人学校はポルトガル語で自己紹介しました。低学年は、大根抜きゲームを夢中になって楽しんでいました。また、高学年は、日本文化の書写を教えたり、コマやけん玉など日本の伝統遊びを一緒に楽しんだりしました。

とても楽しい時間を過ごすことができました。



力の入ったこどもの日大相撲大会マナウス場所開幕！はつきよい残った！

5月2日(月)に毎年恒例のこどもの日相撲大会が行われました。今年の大相撲は、「ねこだまし」や「八艘飛び」など技がぶつかり合いました。熱のこもった土俵際でもつれ込む取り組みも見られました。

行司のかける「はつきよい、のこった、のこった」は、「発気揚揚」とか、「八卦良い」とかが語源のようです。一部には気の力を発揮する「発勁よい」ともいわれています。

日本古来の神事や祭りから発祥した国技である相撲に触れることは、ブラジルに住む子供たちにとって日本文化に親しむいい機会になったと思います。



入植当時を振り返って

5月4日(水)に野沢 清一様を講師に招いて全校道徳を行いました。野沢さんが緑の大地ブラジルでの立志を夢見て、ベレン港に降り立ってからの話を聞かせていただきました。

病気特にマラリアや虫さされに苦しめられたことや異文化理解の難しさについても話をいただき、当時の大変さの一端を知ることができました。

「私の話は、成功例ではなく失敗した人間の話ですよ。」と語る野沢さんに刻まれた年輪の深さに、ここマナウスで築いてきた歩みを感じました。いかに私たちが、先輩の築いてきた日本人に対する信頼を大切に守りながら、今の生活に生かすべきかを学ぶことができました。



第14回「絵画・漫画コンクール」入賞おめでとうございます。

5月7日(土)に西部アマゾン日伯協会会館で行われたコンクールでマナウス日本人学校からたくさんの子供たちが参加し、それぞれのテーマに沿った絵を描き上げました。どの子も素晴らしい作品になりました。参観者の投票で優秀作品が決まり、表彰されました。

○7歳以下の部では、1位 N.Hさん、3位 H.Tさん

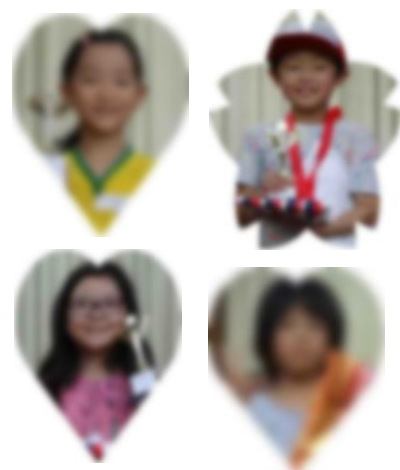
○8歳から11歳の部では、2位 R.Mさん

○特別に領事館賞として、T.Hさん

参加した子供たちには、記念のメダルが贈呈されました。

「限界こえろ！笑顔！全力！1000%」

「限界こえろ！笑顔！全力！1000%」と運動会のスローガンも決まりました。そして、下記の通り団長をはじめとするリーダーも決まりました。子供たちの熱く躍動する姿が楽しみです。



	赤 団	白 団
団 長	S.S	M.S
チアリーダー (◎)	◎N.M、H.K、K.S、A.T、N.H、R.H	◎A/N、M.S、H.T、A.K、A.M
旗リーダー (◎)	◎D.E、H.S、Y.T、A.M	◎S.H、T.H、S.S、K.Y、H.T